

山口大学との連携による学生ボランティアを活用した学校行事の取組

学校名 山口市立湯田中学校（山口県）

全校児童数 289名（男子161名 女子128名）
（本実践に係る問合せ先）

電話番号 083（922）1189

学校メールアドレス yuda-j@yamaguchi-ygc.ed.jp

1 実践（研究）のねらい

体育祭における会場準備や生徒の表現活動の指導補助として学生ボランティアを活用することで、作業効率や指導効果の向上をめざす。

2 実践（研究）の概要

（1）課題について

本校では、体育祭において、色別応援合戦やよさこい「男なら」、その他各種競技種目を実施しているが、限られた授業時数の中でこれらの練習を行うためには、生徒の自主的な活動だけでは限界があり、指導する教員の数も不足している。また、テント設営等の会場準備についても、生徒数・教員数の減少により負担が大きくなっている。

（2）期待される成果（仮説）について

学生ボランティアを効果的に活用することで、生徒に対してきめ細かく指導ができるため、演技・技能習得の効率化が期待できる。また、会場設営においても安全かつスピーディーに行うことができるため、負担軽減につながる。

○課題を解決するために実践した具体的な取組について

1 具体的な取組内容・方法、取組を進める上での工夫点等

（1）活動内容に合わせた学生ボランティア数の配置

事前に当日行う活動内容と、参加できる学生ボランティアの人数を確認し、配置を調整することで、効率良く指導を行うことができるようにした。

（2）各学生ボランティアの得意分野の把握と効果的な配置

学生ボランティアが大学で所属する部活動や特技を把握し、それらを最大限発揮できるよう配置することで、効率の良い指導を行うことができるようにした。

○児童児童の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

学生ボランティアには事前にオリエンテーションを実施し、本校生徒の実情や体育祭の運営方針、指導の際に留意すべき注意事項などを説明することで、学生ボランティアも、緊張感をもち、安全面を配慮しながら活動に取り組むことができた。

○成果の意義と今後の課題

1 学生ボランティアが、自身のこれまでの運動経験を生かしながら、一生懸命指導してくれたこともあり、生徒にとっては年の近い親しみやすい存在として認識されながら、効果的な演技・技能の習得につながっていた。

2 会場設営への学生ボランティアの援助は、生徒・教員の人数が少ない本校にとっては非常に有り難く、大きな負担軽減となった。また、体育祭のために、学生ボランティアが熱心に会場準備している姿から、感謝の気持ちを伝えようとする生徒が出てくるなど、道徳的な面についても生徒が学習できる良いきっかけとなった。今後は、学校行事に限らず、授業でも学生ボランティアを活用できるよう調整していきたい。

○ 研究内容

【安全なテント設営】

生徒に注意喚起しながら支柱を運ぶ学生ボランティア



【きめ細やかな技術指導】

4人5脚を指導する学生ボランティア



【会場設営の援助】

トラックのセパレートコースを引く学生ボランティア



【学校行事に対する多くの人の支えを実感】

生徒から感謝の意を伝えられる学生ボランティア



【学生ボランティアの参加による生徒の意識の変化】

通常は、各競技や応援、全校演技など、限られた時間の中で十分な練習ができないまま本番当日を迎えてしまうことが多々あったが、今回学生ボランティアの参加により、これまで目の行き届かなかった細かい部分にまで指導を行き渡らせることができた。3年生の4人5脚の練習においては、なかなかうまくいかないグループにつきっきりで指導してもらったおかげで、少しずつスピードを上げて走ることができるようになり、生徒からは「こんなに上手になれるとは思わなかった。」「4人5脚っておもしろい。」といった、体育祭の新たな面白さを実感する感想を聞くことができた。

また、黙々と会場設営に取り組む学生ボランティアの姿を見て、「大学生があれだけやってくれているのだから、自分たちも一生懸命練習に取り組まなければならない」と思う生徒も多くいた。

【今後の学校の取り組みについて】

中学校にとって体育祭は、学校生活の充実やリーダーの育成など、生徒をより成長させていく上で非常に重要な学校行事となっている。しかし、体育祭は、実質1週間程度ですべての種目の準備・練習を行う必要があるため、時間に追われ、なかなか効果的な指導ができない現実がある。

そこで、今回のように学生ボランティアを活用することができれば、少ない時間の中でも生徒に対してきめ細やかな指導が実現できるとともに、生徒自身も、これまで味わったことのないおもしろさや充実感を味わうことのできる体育祭として確立できるのではないかと思う。

これらのことから、体育祭における学生ボランティアの活用は、生徒が自主的に行事に参加しようとする意欲を育むとともに、安全面においても大きなメリットが期待できるため、今後も引き続き活用したいと考えている。